

## 長野広域連合広域計画（素案） 住民意見募集（パブリックコメント）結果について

### 【実施概要】

- 意見募集期間 令和2年11月18日(水)～12月7日(月) 20日間
- 閲覧及び意見用紙配布窓口 長野広域連合ホームページ  
長野広域連合事務局総務課  
関係9市町村企画担当課
- 意見等の提出方法 書面（持参、郵送、FAX 及びEメール）
- 募集結果 意見総数 10件（6人）

### 【対応方針の集計】

区分	対応方針	件数
A	広域計画（素案）に反映する。	3
B	広域計画（素案）に盛り込まれている、または既に取り組んでいる。	0
C	広域計画（素案）に反映はしないが、今後の施策に反映する。	1
D	広域計画（素案）には反映しない。	1
E	その他（状況説明等）	5
合 計		10

**【事務項目の集計】**

事務項目等	件数
○ 広域計画改定にあたり	—
1 長野地域の振興整備のための事業に実施に関連して広域連合及び関係市町村が行う事務に関する事	1 件
2 高齢者福祉施設等の管理及び運営に関する事	3 件
3 老人ホーム入所判定委員会の設置及び運営に関する事	—
4 介護認定審査会の設置及び運営に関連して広域連合及び関係市町村が行う事務に関する事	—
5 障害支援区分認定審査会の設置及び運営に関連して広域連合及び関係市町村が行う事務に関する事	—
6 ごみ焼却施設及び最終処分場の設置及び管理に関連して広域連合及び関係市町村が行う事務に関する事（既存の施設に係る事務及び小布施町を除く）	1 件
7 職員の共同研修に関連して広域連合及び関係市町村が行う事務に関する事	2 件
8 広域的な課題の調査研究に関する事	3 件
合 計	10 件

**【ご意見の内容】** ご意見は取りまとめの便宜上、趣旨を損なわない程度に要約しています。また、事務項目ごとに分類しています。

1 長野地域の振興整備のための事業に関連して広域連合及び関係市町村が行う事務に関する事

No.	いただいたご意見	本広域連合の考え方	対応方針
1	スポーツチームとの交流は、各地域とどの様に均等化をするのか。 (7P)	スポーツ交流については、全関係市町村に各スポーツチームが2回ずつ訪問できるよう計画しており、年度末に翌年度の交流希望日程を、市町村にお聞きしています。 しかしながら、園・学校の設置数や子ども達の人口減により、交流希望が2回未満の市町村もあり、その場合には関係市町村に調整して行っています。	E その他 (状況説明等)

## 2 高齢者福祉施設等の管理及び運営に関すること

No.	いただいたご意見	本広域連合の考え方	対応方針
2	<p>施設移管の計画は、どこまで進んでいて、いつまでに完結するのか。その際の助成金はどのように算出するのか。</p> <p>(14、17P)</p>	<p>「長野広域連合高齢者福祉施設等の在り方懇話会の提言（平成 19 年 1 月）」を受け、七二会荘、杏寿荘、須坂荘の 3 施設の法人化を段階的に進めてきました。</p> <p>本広域計画（素案）では、高齢者福祉施設等在り方検討分科会の報告内容を踏まえ、長野広域連合が運営する全ての高齢者福祉施設等を対象として 民間主体への移管を推進する方針を示すこととしています。なお、この方針の推進に当たっては、利用者様とご家族、地域のご理解が不可欠で、今後調整を要するため、現段階では、移管の具体的な時期はお示しできません。</p> <p>移管に当たり、現時点では移管先法人への資金助成は想定していません。また、移管までの間の施設運営に要する経費の財源として、サービス収入だけでは不足することから、この不足分については、協議の上、関係市町村に負担をお願いすることとしています。</p>	E その他 (状況説明等)
3	<p>SDGs で目指すゴールとの関連について、高齢者福祉施設等の管理及び運営にこそ、3 番のゴール「すべての人に健康と福祉を」あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進することを目指す方向性が必要と考えます。</p> <p>(17P 表 2-4)</p>	<p>広域計画（素案）では、「引き続き、利用者の尊厳に配慮し安全で安心なサービスを提供する」ことを今後の方針としていることから、広域計画を修正し 3 番のゴールを加えました。</p>	A 広域計画 (素案)に反映する。
4	<p>社会福祉法人などの民間事業者に全ての施設を移管することに反対します。民間事業者は儲からない施設からの撤退もみられ、全体として 4 割近い施設が赤字とのデータもあります。これでは入所者や職員のサービス切り捨てにつながりかねません。</p>	<p>介護保険制度が運用されて以降、特別養護老人ホームの定員増加など高齢者福祉サービスの供給は民間事業者が担っています。こうした背景として、民間活動の領域の拡大を通じて行政に要する経費を抑制することにより、住民負担の上昇を抑えるこ</p>	E その他 (状況説明等)

No.	いただいたご意見	本広域連合の考え方	対応方針
	<p>加えてこれからはSDGsへの取り組みも必要となり、行政がしっかり責任を持つべきと考えます。</p> <p>(17P)</p>	<p>とと、介護サービスの利用に当たり多様な選択肢が求められていることが考えられます。</p> <p>これまで、利用者様のご理解を得て2つの施設を社会福祉法人へ移管してきた実績を踏まえ、引き続き、長野広域連合が運営する高齢者福祉施設等の移管を推進することを基本的な方針とするものです。</p> <p>しかしながら、移管先法人の不在などにより地域の提供体制が確保できない場合には、長野広域連合を含む公的機関が必要な高齢者福祉サービスの補完的供給の役割を負うものと考えています。</p>	

6 ごみ焼却施設及び最終処分場の設置及び管理に関連して広域連合及び関係市町村が行う事務に関すること（既存の施設に係る事務及び小布施町を除く）

No.	いただいたご意見	本広域連合の考え方	対応方針
5	<p>最終処分場の候補地選定は、どのようにして行っていくのか。</p> <p>(30P)</p>	<p>次期一般廃棄物最終処分場の建設候補地選定は、建設に至るまでの時間的なこと及び埋立容量、埋立期間に限りがあることから、平成24年11月の広域連合議会において、候補地の選定に着手していくことを表明しています。</p> <p>その後、長野市、信濃町、小川村及び飯綱町の4市町村において、それぞれ候補地を検討する方針としたうえで、現在、選定作業を進めていただいています。</p> <p>なお、この候補地選定に当たりましては、国立公園、文化財指定地域、地すべり防止区域などの法的な規制区域を除外したうえで、一定規模の埋立て量が確保できる山林または原野などの中から、物理的に建設が可能な広さで、主要道路からのアクセ</p>	E その他 (状況説明等)

No.	いただいたご意見	本広域連合の考え方	対応方針
		<p>スが良い場所などを選定していただくようお願いしています。</p> <p>次期建設候補地選定までの具体的なスケジュールは、各市町村から選定いただいた候補地について安全性を確認するため、来年度以降、活断層の有無などの文献調査をはじめ、生態系、地質、水質など周辺環境の状況のほか、病院・学校などの周辺施設の状況などについて調査し、令和7年度を目標に建設候補地を決定する予定です。</p>	

#### 7 職員の共同研修に関連して広域連合及び関係市町村が行う事務に関すること

No.	いただいたご意見	本広域連合の考え方	対応方針
6	<p>職員研修は講演拝聴でなく、長野広域としての課題と在り方の掘り起こしと対処の研修検討を専門家を交えて行うべきでは。</p> <p>(32P)</p>	<p>令和2年度までは講演形式の研修を主に行っていましたが、来年度の職員研修につきましては、関係市町村に、取り上げて欲しいテーマ（課題）をお聞きし、共同研修のメリットがより活かせるような内容を取り上げる予定です。</p> <p>また、長野広域連合の課題と在り方については、広域的課題調査専門部会において、今後検討して行く予定です。</p>	<p>C 広域計画（素案）に反映はしないが、今後の施策に反映する。</p>
7	<p>研修は、職員の職務や階層、経験年数に応じた計画的なものとなっていることと思いますが、キャリアに応じた研修計画を望みます。また、昇給、昇格についても、ぜひキャリアパスを基準とした人材育成の実施をお願いしたいと思います。</p>	<p>今後の職員研修の参考とさせていただきます。</p>	<p>D 広域計画（素案）には反映しない。</p>

8 広域的な課題の調査研究に関すること

No.	いただいたご意見	本広域連合の考え方	対応方針
8	<p>休止中の専門部会も、課題を掘り起こして定期的に行うべきでは。</p> <p>(34P)</p>	<p>休止中の専門部会についても、広域的課題専門部会において、継続等の必要性や、新たな課題についても今後検討して行くことについて、明記したほうが分かりやすいと考えます。</p> <p>つきましては、以下のとおり修正しました。</p> <p>○ 広域的課題調査専門部会において「広域的な課題の調査研究に関すること」について、次期広域計画までに整理を行い、併せて休止中の専門部会についても、<u>継続の必要性や課題について再検討します。</u></p>	<p>A 広域計画 (素案)に反映する。</p>
9	<p>各市町村からの負担金について、5年毎での見直しが必要ではないか。</p> <p>(36P)</p>	<p>市町村負担金については、関係市町村の意向により協議の上、決定されていますので、ご理解をお願いします。</p>	<p>E その他 (状況説明等)</p>
10	<p>「広域的な課題の調査研究に関すること」について、これまでの事業の休止や終了の記述が多く、新たな課題に関する今後の方針及び施策について、もっと積極的に調査研究する必要性を強調することを記述すべきです。</p> <p>(36P)</p>	<p>現状の課題に変化があった場合、住民の利便性や行政運営の経済性、効率性の観点から、広域連合で行うことで、より効果的に実施できる事業について、関係市町村と調査研究を進めていきたいと考えます。</p> <p>つきましては、以下のとおり修正しました。</p> <p>○ 長野広域連合は、関係市町村が共通して抱える課題等を的確に捉え、<u>課題解決に向けた市町村間の連絡調整を行うとともに、住民の利便性や行政運営の経済性、効率性の観点から、広域連合で行うことで、より効果的に実施できる事業について、関係市町村と調査研究を進めていきます。</u></p>	<p>A 広域計画 (素案)に反映する。</p>